

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	どんぐりの家		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 23名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	他職種との連携を大切に、本人の思いを大切にしながら家族とともに成長を支える支援を大切にしている。	他職種と密に連携し、情報共有しながら本人と家族の希望を支援に反映している。家族とも丁寧な対話を重ね安心して利用できる環境作りに取り組んでいる。	支援計画の振りかえりを通じ、支援の質の向上に継続的に取り組む。
2	専門的な知識と技術	体調変化をアセスメントし、状態を的確にとらえ、早期に適切なケアが提供できる。保護者様への報告や受診のタイミングの助言ができています。	知識や技術向上のための勉強会や研修会に参加する。
3	保育士の専門的視点を活かし、発達段階や特性に応じた関わりを大切にしている。	保育士が活動を製作・音楽・季節教育に分けて実施し、五感を刺激する支援を行った。活動目標が明確となり、個々の障害特性や発達段階に応じた支援の充実につなげている。	五感をより効果的に刺激できる教材や手法を取り入れていく。
4	リハビリを日常生活に取り入れ、遊びを通して楽しく取り組める環境を整えている。	個別支援計画のほかに、リハビリ計画を作成し、「生活や遊びの中でどう活かすか」を考えながら支援を行っている。	個別支援計画やリハビリ計画を療育と連携させ、遊びや生活活動に反映させていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	入浴サービスや送迎サービスの提供が不十分	ケアの充実や療育に重点を当てているため、入浴や送迎に携わる人員の確保が不十分な点があります。	
2			
3			